



特定非営利活動法人 山崎・谷戸の会
会報 第99号 2020年9月5日発行

本会は、鎌倉中央公園の貴重な谷戸景観と多彩な動植物を保全するため、市民活動を実践していたメンバーが中心となり、行政との協働で立ち上げたものです。



かかし作り

あまりの暑さに、マスク姿の来園者が少なくなりました。はるばる遠くへ旅に出なくても、身近な谷戸の自然に目を向けると、さまざまな生きものに出会えたり、四季の移り変わりを体感できます。今年の稲穂は粒ぞろいで垂れてきました。

谷戸往来

かまくらレンジャーズ 7/24(祝・金)

関東各地から、たくさんの来訪でした。ステイホームの日々、泥んこになって汗をかく作業は、皆さんの何よりの癒しになったようです。



夏休み教員補助作業 8/18(日)

今年も深沢小学校、ひだまり教育支援教室の先生方が子どもたちのために汗を流しました。コロナ禍の影響で1学期は中止でしたが、2学期の実施に向けて先生方も懸命です。

深沢小5年生 来訪 8/27(木)

深沢小5年生が稲の観察にきました。立派に育った稲とたくさんの虫たちに歓声があがっていました。



ツルボとイチモンジセセリ

自然だより

～ 秋のチョウと土手の野草 ～

秋だけに見られるチョウはいません。ほとんどのチョウは約2ヶ月で世代交代するので、秋のチョウは春のチョウの孫や「ひ孫」になります。種類によって、春の世代が多くなるか、秋の世代が多くなるか決まっているので、春は白いチョウ、夏は黒いアゲハチョウが目立つなど季節感があるのです。秋は茶色のジャノメチョウやセセリチョウの仲間が多くなります。色は地味ですが、ジャノメチョウの目玉マークや、セセリチョウなら「紋付はかま」のような模様を楽しめます。秋のチョウは里山の花に集まります。8月下旬に畑の土手でツルボが咲くとイチモンジセセリ（表紙の写真参照）が、10月にかけてキツネノマゴやノコンギク、ヤマハッカなど次々に野草が咲いてくると、ヒメウラナミジャノメやキタキチョウなどが蜜を吸いに訪れます。田の畔で咲く薄紫色のヨメナ（野菊の一種）にも昆虫が来ますが、現在の鎌倉市内ではほとんど見られない風景です。黒いアゲハチョウはヒガンバナがお気に入りのようです。夏に草刈りをしなければ秋の花は咲きません。私たちが、谷戸の田畑を昔ながらの方法で続けなかったら、わざわざ畑の土手や田んぼの畔を草刈りして維持することはなかったでしょう。また湿地（田んぼの跡地）では、秋の彼岸ごろから10月半ばにかけて、ミゾソバやツリフネソウが一面に咲きます。本来ならクズやカナムグラなどツル草でおおわれてしまう場所ですが、毎年の除去作業の成果が出てきて、湿地の花が安定して咲くようになりました。鎌倉市内に棲むチョウの大部分が、谷戸に来れば普通に見られます。チョウは種類によって訪れる花も異なります。今流行のコスモスの花畑だけでは、昆虫は守れないのです。何気なく咲く花とさまざまなチョウたち、それを支えているのが里山保全活動です。

●谷戸の様子

7月は雨と日照不足、8月は猛暑と水不足、極端な気候のためか、稲の花が咲くのが遅れたようです。この夏、人間界のコロナ禍に対応するかのように、谷戸の樹木が枯れ始めました。全国的に問題になっている「ナラ枯れ」と呼ばれている病気が広がっています。

コナラの葉が急に茶色くなって、大木でもあっという間に枯れてしまうようです。台風による倒木、病気など、自然の力で樹木が間引かれているのでしょうか。

谷戸の生きもの

～ チャイロスズメバチ 怒らずと怖いから注意ね ⚠ ～

珍しい(数が少ない)スズメバチと

して知られた存在。生態も変わっている。越冬から目覚めた女王はキイロスズメバチやモンスズメバチの巣に潜入してその女王を刺し殺し、巣を乗っ取るのだ。元の働きバチに自分の産んだ子の世話をさせることが知られている。写真はコナラの樹液に来ていたところで、嬉しくて近寄って撮影したが、実は攻撃的で、毒性も強く危険なスズメバチだと後で知った。キイロスズメバチほどの大きさだが、気の強さは相当のようで、自分よりはるかに大きなオオスズメバチと一対一で鼻先を突き合せたまま空中で「小さくてもあんたなんかに負けないからね」と、まさに“タイマンを張って” いるのを見てしまった。(たのくろまめお)



体験学習

「谷戸田の米作り」ビデオの提供

深沢小5年生 富士塚小5年生に1学期の活動をビデオにまとめてお届けしました。子どもたちからたくさんの嬉しい感想をいただきました。(深沢小) ★去年の5年生がじっさいにやっているところや、最近の稲のようすも伝えてくれて、すごく分かりやすかったです。★えいぞうを見ていたら、早く中央公園に行って、やってみたくまりました。★谷戸活動ができなくて残念ですが、バケツ稲は土を一から作るのも楽しかったです。田んぼのように虫がたくさんいないことが残念です。(富士塚小) ★お米をどうやって作っているのかが、よくわかりました。一つびっくりしたことがあります。お米に花がさくことです。★お米作りしたかった!!! 「お米のしゅうかくのじきは?」「いねのうえかたはどうやるんですか?」というしつもんがあふれてきます。

各班のお知らせ

田んぼ班



今年も長梅雨で梅雨明けが8月になり、そのせいか久しぶりにコブノメイガが、飛来してきました。被害はあまりないようです。梅雨が明けたと思ったら一転の猛暑、稲にはよい天気ですが、作業はつらいよ。

畑班



長い梅雨と日照不足、その後は一転して猛暑と日照りで作物の生育遅れが心配です。一方雑草は元気。これからは大きな被害をもたらす台風の季節。来ないことを祈りつつ対策も考えておかないと。



梅の天日干し

自然遊び班



夏休みに入った子どもたちとかかしを作りました。稲刈りまで、しっかりと田んぼを守ってくれる頼もしいかかしができました。暑い中、畑の作業や大麦の脱穀も手伝ってくれました。

植物育成班



暑さで休んでいたカナムグウもぐんぐん成長します。花粉が飛ぶピークでもあり駆除が困難ですが、種になる前に多く取り除きたいところです。この時期にひと踏ん張りすることが来年に繋がります。

雑木林管理班



今年の長梅雨と酷暑でも、谷戸の草木はいつも通りに元気に成長し、我々も負けずに草刈りに奮闘しています。一方、園内の雑木林でもナラ枯れが発生しており、今後の推移が非常に心配です。



落花生畑の草取り

農芸班



梅干しに赤ジソを入れるのは何故か。着色が第一の理由。先人に倣^{なま}って、より赤く美しく風味豊かに仕上げています。防腐防虫効果もあり、ビタミン、ミネラルが摂取できて健康にもよいそうです。

生態系保全班



渇水時期、水路の手入れが重要です。湿地などの乾燥を防ぎ、生きものが暮らしやすい環境を維持するためです。調査中、チャイロスズメバチを怒らせました。騒がず被害を回避した様子はさすが生態系班です。



巣を発見

9月

- 2日(水) 農 麦わら細工(しおり作り) ♣
 6日(日) 田 すがい作り ☆
 畑 大根の種蒔き ♣
 雑 刈払い機で草刈り ♣ ☆
 講座「谷戸の植物観察」☆
 9日(水) 生 秋のチョウ生息地の保護作業 ♣
 12日(土) 生 夜の自然パトロール ♣
 13日(日) 田 はさ作り(田んぼ横) ☆
 14日(月) 畑 草取り・草刈り ☆
 20日(日) 田 はさ作り(もめんばたけ奥) ♣
 23日(水) 畑 大根の間引き・長ねぎの土寄せ ♣
 27日(日) 田 稲刈り準備・畔の草刈り
 雑 稲刈り前の草刈り ♣ ☆
 かまくらレンジャーズ
 28日(月) 畑 かぶ・冬菜の種蒔き ♣

10月

- 3日(土) 田 稲刈り ☆
 生 夜の自然パトロール ♣
 4日(日) 田 稲刈り ♣
 7日(水) 植 湿地の花の保護作業 ♣
 10日(土) 田 稲刈り
 11日(日) 田 稲刈り ♣
 畑 さつまいも掘り ☆
 14日(水) 農 小麦選別・製粉(製粉機) ♣
 18日(日) 田 田んぼ周り道具の片付け・溝切り
 雑 雑木林の下草刈り ☆
 自 里山探検隊「さつまいも掘り」
 19日(月) 畑 大根の間引き・草取り ♣
 24日(土) 田 脱穀
 25日(日) 田 脱穀 ☆
 雑 雑木林の下草刈り ♣
 28日(水) 畑 大麦の種蒔き・落花生の収穫 ♣

11月

- 1日(日) 田 脱穀(予備)・はさ片付け
 雑 雑木林を歩いて調査 ♣
 3日(火・祝) 田 粃干し・溝切り・畔修理
 4日(水) 子育て懇談会主催
 「谷戸で遊ぼう!さといもと泥んこ」
 7日(土) 田 粃すり・精米・わら切り
 8日(日) 田 粃すり・精米・わら切り ♣
 畑 たのくろ豆の収穫・吊るし干し ☆
 雑 雑木林の除間伐 ☆
 自 こども里山一日体験
 「さといも掘り」▶
 15日(日) 田 粃すり・精米・わら切り
 雑 雑木林の除間伐 ♣
 16日(月) 畑 さといも掘り・洞入れ ♣
 18日(水) 農 たのくろ豆の殻出し・選別 ♣
 22日(日) 田 わら切り・落ち葉かき ☆
 雑 雑木林の除間伐
 自 父と子の里山体験 ▶
 25日(水) 畑 たまねぎの苗植え

29日(日) 秋の谷戸まつり 10~14時

☆ 谷戸塾 ♣ 里山一日体験
 ▶ こども里山一日体験、父と子の里山体験
 会員以外の方 参加費 500 円/組

各班活動 農家風休憩舎 9:30 集合
 (農芸班は、10 時)
 夜の自然パトロール:山崎口しいし前
 18:30 集合 20:30 ごろまで

田:田んぼ班 畑:畑班 雑:雑木林管理班
 農:農芸班 自:自然遊び班
 生:生態系保全班 植:植物育成班

今後の情勢によって中止や延期の可能性があります。
 ホームページ、または事務所にご確認ください。

〒247-0066 鎌倉市山崎 1667 鎌倉中央公園管理事務所内

TEL/FAX 0467-47-1164 木曜を除く 10 時~16 時

ホームページ : <https://yato-yamasaki.sakura.ne.jp>

Eメールアドレス:ya-yato@arrow.ocn.ne.jp

● 次号(会報100号)は、2020年11月に発行予定

